

耐震スリットの常識を覆す

エアースリット

AIR SLIT

2時間耐火試験／層間変形・水密性試験／特許出願中

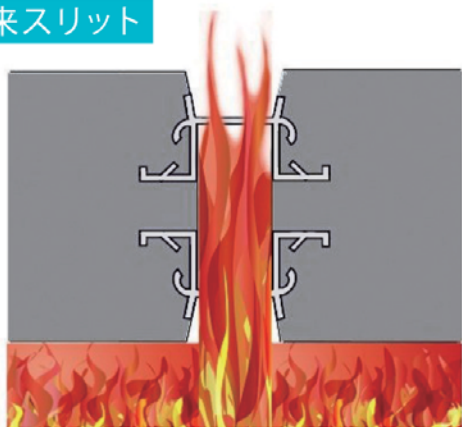
旧型の耐震スリット材ではできなかった、人に優しい完全耐火型の住居空間を実現します！

エアースリット 4つの ポイント

1. **完全耐火性**：人体に害を与える耐火材を使用しません。
2. **完璧な気密性**：地盤沈下等による層間変位に対応します。
3. **免震構造や制震構造等とのコラボレーションが可能です。**
4. **完成された次世代型の層間変位対応システムを提供できます。**

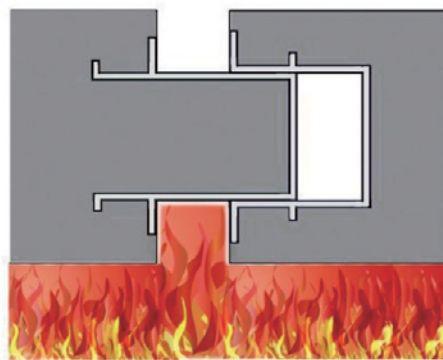
🔥 従来スリットとの耐火比較検証

従来スリット



従来のスリットは、壁に対して直線な為、スリットが火災で焼失すると隙間が空き、火災の侵入を防ぐことが出来ません。

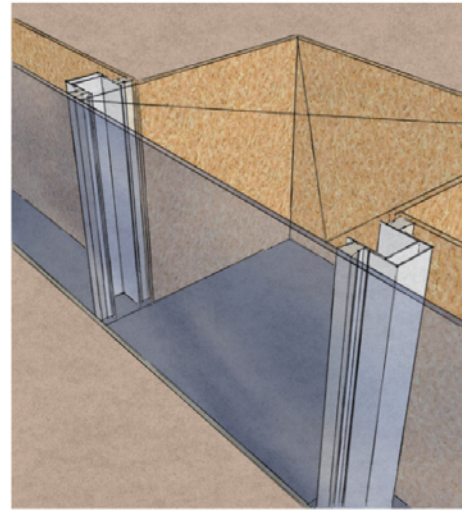
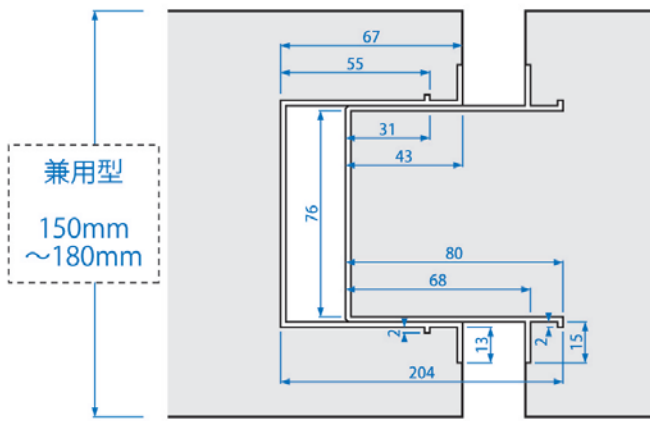
エアースリット



エアースリットは、**コンクリートの凹凸**で設けた**大きな段差と空気層**で、火災の炎やウイルス、放射能の侵入を防ぎます。

水平スリット（従来品をお使いいただけます）

製品概要



型番：AS-E-001 定尺：2.3m 梱包：6本入/箱
定価：¥3,500/㎡ ¥8,500/本 3箱以上、送料無料

● **安全性の実証** 都市機構「機材の品質判定基準（平成23年4月）」「スリット材の性能試験方法」に準じて行った試験結果です。

2時間
耐火試験

(建材試験センター)



層間変形・
水密性試験

(建材試験センター)



施工手順

1 > 外型枠に目地棒取付
※釘ピッチ200mm以内

> 柱まわりの型枠にも
同様に目地棒を取り付ける

2 > 外部側へエアースリット
近傍に丸セパレータをセット

> 外壁枠にエアースリットをはめ込む
※ プチル防水シールは外部側へ

3 > 内型枠の立込み
(目地棒は先に取付)

> 丸セパレータ締め込みにより
エアースリットを固定する



エアースリットは、取付金具がありません。 取付のために目地棒を200mmピッチ以内で釘止めしてください。
コンクリート打設の際、エアースリットにかかる側圧が分散されるように、十分注意して打設してください。

代理店

EIFS-J

製造元：EIFSJAPAN株式会社

T e l : 0537-23-3992

販売元：JCM 株式会社

T e l : 0537-23-5858